

COPD 患者に対する包括的リハビリテーションアプローチ

2011年にCOPDの治療を受けた患者は22万人とされていますが、潜在的には40歳以上のCOPD有病率は8.6%、患者数は530万人と推定されており、医療施設でも在宅生活でも接する機会が多い疾患です。COPDは、その症状によって著しいADLやQOLの低下を呈しやすく、他職種での管理が非常に重要とされています。

今回、COPDに関する基礎知識と呼吸リハビリテーション、呼吸管理に関わる医療機器、在宅生活で活かせるミニレクチャーなどのセミナーを企画させていただきました。

実際に機器を用いた解説も行う予定となっておりますので、奮ってご参加ください。

対象： 東京都区西部（新宿区、中野区、杉並区）のCOPD患者に関わるスタッフ・リハビリスタッフ

定員： 30人（定員になり次第締切り）

参加費： 無料

開催時期： 2014年6月25日（木曜日）18時30分～20時

開催場所： 慶應義塾大学リハビリテーション科 リハビリテーションセンター
（3号館南棟2階） 地図下記参照

申込方法： **事前申込みが必要**です。下記の連絡先メールアドレスに

- ① 名前 ②ふりがな ③所属先名 ④職種 ⑤経験年数 ⑥連絡先メールアドレスを明記し、送信してください。
追って、受講可否を返信します。

申込先： 慶應義塾大学病院リハビリテーション科 理学療法室（福井 奨悟） kuseibu_chiikireha@yahoo.co.jp

プログラム

18:00～ 受付開始

18:30～ 開催挨拶

18:35～ 「COPDの病態について」

講師 辻川 将弘 先生（慶應義塾大学 リハビリテーション医学教室 医師）

19:50～ 「COPD患者に対するリハビリテーション（総論）」

19:05～ 「在宅酸素療法（HOT）と在宅人工呼吸（NIPPV）」

講師 深井 和良 先生（慶應義塾大学病院 リハビリテーション科 理学療法士）

19:25～ 休憩

19:35～ 「排痰法と在宅生活で活かせるエッセンス」

講師 深井 和良 先生（慶應義塾大学病院 リハビリテーション科 理学療法士）

19:50～ 質疑応答

19:55～ 閉会挨拶

20:00 終了

主催：東京都区西部地域リハビリ支援センター（慶應義塾大学病院リハビリテーション科）